

株式会社鹿の湯ホテル

三重県三重郡菟野町

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

三重県・湯の山温泉の魅力を海外へ向けて発信する「おもてなし」の湯宿

- 三重県の地域資源「まこも」を活用した観光メニューの開発により、地域活性化を図る取組を実施
- 多言語に対応したWEBサイト構築により、訪日外国人旅行者の獲得を考えている魅力的な事業者である
- ピュアキレイザーの導入により、泉質の向上とランニングコストの低減を実現している

企業基本情報

所在地	三重県三重郡菟野町大字菟野 8520-1
電話/FAX	059-392-3141/059-392-2207
URL	http://www.sikanoyu.co.jp/
代表者	代表取締役 伊藤 裕司
設立	1996年
資本金	2,000万円
従業員数	42人



会社概要

同ホテルは1963年に創業し、1998年に露天風呂を新設、2010年には客室の全面リニューアルをするなど、常に魅力あるサービスを提供し、顧客のニーズに積極的に応えられるように努めている。近年は高校新卒を中心に若いスタッフを積極的に採用。また、年々増加している訪日外国人旅行者向けに多言語WEBサイトを構築する等、日本国内の人口減少で国内旅行者のマーケットが縮小傾向にある中、海外市場の獲得に注力している。



ホテル外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 三重県の地域資源「まこも」を活用した観光メニューの開発

同社が所在する菟野町の町名由来のイネ科の植物「まこも」により地域活性化を図ろうと、生産者や温泉宿、飲食店などが、「まこも」を活用した特産品やメニュー開発に取り組んできた。そのような中、同社の若女将が「湯の山温泉女将の会きらら」において、まこも活用や体験型観光メニュー開発を推進。同社では、果実酢作りやアロマ作り、まこも刈り体験など体験メニューを豊富に取り揃え、温泉に加えて新たな魅力を提供し、2015年度には6つの体験メニューに約150人の参加を得た。



三重県の地域資源「まこも」

▶▶▶ 多言語対応のWEBサイト構築による訪日外国人旅行者の獲得

以前の同社のWEBサイトでは、外国語の表記は行っていなかったため、顧客が翻訳サイト等を利用し労力をかけて利用する状況にあったが、多言語のWEBサイトを構築し、旅行者が英語、韓国語、中国語、タイ語で同社の情報を閲覧できる環境を整えている。日本食、温泉湯宿、県内の観光スポットの魅力を多言語で発信する等の付加価値向上を目指す取組を行っている。リニューアル後は52カ国、1,591名から2,449回のアクセスがあり、延べ6,857ページが閲覧されている。



インバウンド対応の同社WEB

▶▶▶ ピュアキレイザーによる泉質の維持とランニングコストの低減

温泉旅館として湯の山温泉の効能を顧客が100%堪能できるサービスの実現のために、ピュアキレイザーを導入した。

これによるオゾン+紫外線+光触媒による促進酸化処理法によって効率的にレジオネラ菌等を除去することが可能であり、酸化力は塩素の20倍以上であるため、塩素の使用を大幅に低減させることができ、ランニングコストの低減にもつながっている。



ピュアキレイザー